

動く、医療・介護



春日部市在宅サービス多職種連絡協議会設立

春日部市では、在宅医療と介護が一体的に提供できる体制を構築するための事業が進められています。平成27年4月、市民の在宅生活継続のための、あるべき姿を検討する協議体として、春日部市在宅サービス多職種連絡協議会〔春宅会〕が設立されました。春日部市の、各医療介護の代表者が委員となり、月1回程度で協議会が開かれています。

委員の紹介

- 上段右側より
- 長谷部 朋子 (地域包括支援センター長代表)
 - 榎並 久枝 (介護保険施設系サービス代表)
 - 太鼓 直人 (介護保険居宅系サービス代表)
 - 志村 暁彦 (居宅介護支援専門員代表)
 - 遠藤 賢 (春日部市医師会)
 - 大野 智之 (認知症初期集中支援チーム代表)
 - 桜井 厚 (春日部市健康保険部長)
 - 会田 和彦 (春日部市健康保険次長)
 - 宗広 則之 (春日部市健康保険部参事)
 - 村田 政彦 (春日部市健康保険部健康課長)
- 下段右側より
- 今井 良仁 (春日部市薬剤師会会長)
 - 山崎 裕司 (春日部市歯科医師会会長)
 - 高柳 寛 (春日部市地域包括ケアシステム推進センター代表)
 - 竹田 広樹 (春日部市医師会副会長・春宅会副会長)
 - 山崎 典之 (春日部市医師会長・春宅会会長)
 - 三宅 洋 (春日部市立病院院長)
 - 南本 浩之 (リハビリ専門職代表・春宅会副会長)
 - 名越 啓史 (春日部市医師会)
 - ※渡邊 真司 (春日部市医師会 ※撮影時欠席)

春しん

2016年(平成28年) 第1号誌 春夏号
 【発行元】
 春日部市地域包括ケアシステム推進センター
 春日部市在宅サービス多職種連絡協議会

進先生&春十ースの ちょこっと講座 一病気の理解

藤さん52歳。毎日遅くまで大忙し。

今日も残業。健診で、血糖値を指摘されているけど、何ともない。

疲れたー。食へるぞー

しかし、最近…

多尿 口渇 多汗・疲労

藤さん、病院へ行きました。検査の結果…

【糖尿病】でした!

まず、生活習慣運動、食事そして薬

はい

進先生、藤さんは、生活習慣が主な原因の2型糖尿病ですね

そう、春さん。糖尿病は無症状で進行していることも多いよ。健診で指摘されていたり、かかりつけ医の受診をすすめよう。

※生活習慣に起因しない1型糖尿病もあります。

春しんとは

春日部市の医療介護に携わる方や地域の方々へ、春宅会や春進センターの活動を通じて、春日部市における医療・介護の取り組みを深く理解して頂くために、春進センター通信『春しん』を作成しました。春コン、春コン・ケアの報告や、今後の研修会の予定、医療介護連携のシステムづくりの進捗状況などもお知らせしていきます。年2回発行を予定しております。

春日部市地域包括ケアシステム推進センターとは

平成27年4月より、春日部市から委託を受けて、春宅会と共に活動を始めました春日部市地域包括ケアシステム推進センター〔春進センター〕。春宅会で協議された内容を、春進センターが受け、春日部市や地域包括支援センターと連携し、地域支援事業の充実と、医療介護ネットワーク拡大のための活動を行っています。

- 右側より
- 磯畑守美 (事務)
 - 寺島和亜 (看護師・ケアマネ)
 - 高柳 寛 (センター長 医師)
 - 南本浩之 (副センター長)
 - 高橋梨奈 (相談員)
 - 荻野宏希 (事務)
 - (理学療法士)



輝いています!

チームの一員として、鍛えられています。

初回は、春進センターの推薦で取材させて頂きました。今年の3月に春進センターが第4地域包括支援センターに取材を受けたときの箕田さんの笑顔に、全員一致で決まりました。センター長の長井さんは、『箕田さんは、心温まる地域のお父さん。お父さんと共に、多様な意見交換をし、地域のケアマネシメントを行っています。』と話されていました。いつも笑顔で元気をもらえる、第4地域包括支援センターの皆さんの活動を応援しています。

第4地域包括支援センター 箕田 裕明さん (介護支援専門員)

輝いている人募集中

毎号の『春しん』にて、春日部の医療・介護職で活躍されている方々と、所属している事業所の特集をしていきたいと考えています。自薦、他薦、業種、資格等は問いません。ぜひ春進センターまでご連絡ください。取材をさせていただきます。年2回の『春しん』に掲載させていただきます。仕事上の素敵な笑顔をお待ちしております。

※尚、応募が多数となりました場合にしましては、選考とさせて頂きますので、ご了承ください。

編集後記
 『春しん』作成のきっかけとなったのは、地域包括支援センターの通信を頂いたことから。日々、春日部市で動いている活動をヒントに、春進センターもダッシュしてきた1年間でした。春進センター平均年齢39歳という微妙な年齢ですが、これから70年を気にしないパワーでまい進していきたいと思っております。てす◎

お問い合わせ
 春日部市地域包括ケアシステム推進センター
 住所：春日部市緑町6-11-41
 電話：048-745-8665
 FAX: 048-745-8665

これまでの春宅会の協議内容

- 春日部市医療介護連携研修・交流会の企画・開催
- 春日部市介護事業部門連携研修・交流会の企画・開催
- 春日部市健康フェアでの市民向け啓発活動
- 医療介護職間での連携や地域交流を深められるようにする為の取り組みについて
- 認知症の早期発見・早期ケアに向けて地域における対応策の検討
- 春日部市内の医療介護関連施設を網羅する資源検索ツールの導入について
- 春日部市医療介護連携シートの企画と作成
- 春日部市医療介護の啓発ポスター、啓発誌の作成
- …平成27年度は10回開催されており、右記の他にも、在宅医療介護の啓発と、より良いサービス提供の為に沢山の事柄について協議がされています。

ご挨拶

春日部市では、「医療」「介護」「予防」「住まい」「生活支援」を切れ目なく提供する地域包括ケアシステムの実現に向けた取り組みを行っています。高年齢になっても住み慣れたところで、安心して暮らし続けることが出来るよう、多職種が連携して活動することが必要です。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

春宅会会長 山崎 典之

第1回 春コン・ケア

開催日：平成27年8月20日と26日
 (部門別開催)
 場所：ふれあいキューブ1階
 参加者：両日合計196名
 講演：『春宅会及び春進センターについて』
 春宅会副会長 春進センター 南本 浩之
 『春宅会の報告』
 春宅会委員 榎並 久枝・志村 暁彦・太鼓 直人
 『春日部市在宅医療介護資源の把握と公開について』
 春宅会副会長 南本 浩之
 連携交流会：①『(部門同士の)連携の課題について』
 ②『春日部市の在宅医療介護のより一層の充実に向け
 力ができることについて』
 ③『在宅医療介護サービスに係る多職種との連携の課題
 について』
 ①～③の2つをグループワーク・発表



春日部市介護事業部門連携研修・交流会【春コン・ケア】

第2回 春コン・ケア

開催日：平成27年2月22日
 場所：ふれあいキューブ1階
 参加者：136名
 講演：『春日部市における地域ケア会議について』
 春日部市健康保険部介護保険課 中澤 一城
 『春日部市における地域ケア会議
 地域包括支援センターの取り組み』
 春日部市第7包括支援センター 熊田 一江
 連携交流会：『自立支援について』
 ～困っていること、出来ること、解決するためには～
 グループワーク・発表



春日部市の地域包括ケアシステム構築のための
 研修や、様々な職種の方々との意見交換をす
 る交流会を開催しています。【春コン】は、5
 月と11月、【春コン・ケア】は、2月と8月に
 定例開催を予定しています。

次回は、平成28年5月23日にふれあい
 キューブにて開催されます。参加対象と
 なる事業所向けに、春進センターより
 FAXを送信させていただきます。(FAXが届かな
 い場合は、ご連絡ください。)



研修・交流会

第1回 春コン

開催日：平成27年4月15日
 場所：ふれあいキューブ1階
 参加者：349名
 講演：『春日部市医療介護連携について』
 春宅会副会長 竹田 広樹
 『春進センター及び春宅会について』
 春宅会副会長 南本 浩之
 『春日部市式医療介護連携パスについて』
 春日部市立病院院長 三宅 洋
 情報交換会：『医療介護連携での問題点』
 テーマをもとにグループワーク



春日部市医療介護職連携研修・交流会【春コン】

第2回 春コン

開催日：平成27年11月10日
 場所：ふれあいキューブ1階
 参加者：310名
 講演：『春宅会の役割と今年度会議報告について』
 春宅会副会長 竹田 広樹
 『春日部市医療介護資源検索システム及び
 春日部市医療介護連携パスについて』
 春宅会副会長 南本 浩之
 『医療介護情報共有ツール紹介』
 (株)日本エンブレース 伊東 学
 情報交換会：『在宅医療介護を進めるうえで必要なこと』
 テーマをもとにグループワーク



春サポ 活動中です

春日部市在宅サービス多職種連絡協議会サポーター

今後の春宅会及び春進センターが主催する研修・交流会の企画、運営や、
 様々な医療介護連携についての情報交換など、一緒に取り組んでいただ
 ける有志の方を募集しています。春日部市の在宅医療・介護を進めて
 いくためにも、ぜひ、『春サポ』にご参加ください。ご連絡をお待ちし
 ております！

【活動予定】

- ・春コン、春コン・ケアの企画会議 (4月、7月、10月、1月)
- ・春コン、春コン・ケア当日の運営 (5月、8月、11月、2月)

平成28年2月現在で
 医療・介護職合わせて
 61名の春サポメンバ
 ーとなりました！



これからの春日部市の在宅医療への取り
 組みに、自分の経験を通して提案できれば
 良いと思っています！

医療法人光仁会
 訪問看護ステーションひまわり
 岡本 典子



地域包括ケアシステム実現に、我々専門職が、ど
 のようなサポートができるか、まず春進センター
 に身近な情報を提供し検討し、地域に持ち帰り、
 活力ある地域づくりに役立てられたらと考えて
 います。

くらびくる(居宅介護支援事業所)
 志村 静枝



住み慣れた地域で安心して過ごせる街づくり
 ができるように、人との絆・地域とのつながり
 を大切に頑張ります！

三須医院通所リハビリテーションいこい
 坂田 修



メンバーから一言

春サポを通じて、春日部市の在
 宅医療では難しい方や、医療機
 関へ入院できない方などの取
 り組みに積極的に関わって行
 きたいと考えます。

ヒューマンサポート春日部中央
 有料老人ホーム(特定施設)
 黒島 一能

